

No. 8-3

事務事業評価シート1-1

は、プルダウンメニューから選択

事務事業No. 08 - 3

事業分類		<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需		公的関与		6		作成日		28年 5月 20日		
事務事業名		保健福祉センター管理事業						シート作成部署				
総合計画上の位置付け	基本施策	2 人にやさしいまち						課名	地域福祉課		係名	
		2-1 健康に暮らすまちをつくる						シート作成者				
	施策	2-1-1 自らの健康づくりの推進						予算費目	会計		一般	
		① 健康づくり意識の高揚と主体的活動の促進							款		3	
主要施策							項		1			
							目		4			
個別計画名												
住民との関わり		特になし										
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）				目的（どういう状態にしたいのか）							
	幼児から高齢者までを含む一般住民				健康福祉の増進及び文化的な生活向上を図る。							
事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		施設並びに設備の維持管理を行う。また、安心して利用できるよう長寿命化を推進していく。発達支援事業、検診事業に対応する改修を行う。										
事業期間		昭和 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 54年度 ~ 平成 年度（ 年間） <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし										
根拠法令・要綱等		東員町保健福祉センター条例										
		平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）				
全体事業費（千円）A+B		7,210			8,484			35,171				
財源内訳	国庫支出金		0			0			0			
	県支出金		0			0			0			
	地方債		0			0			0			
	その他特定財源		0			0			0			
	一般財源		6,682			7,956			34,643			
直接事業費（千円）A		6,682			7,956			34,643				
人件費（千円）B		528			528			528				
内訳	一般職員（人・千円）		0.08 人 528		0.08 人 528		0.08 人 528					
	臨時職員（人・千円）		人 0		人 0		人 0					
成果指標	成果指標名				単位	27年度		28年度	29年度			
						目標	実績	（目標）	（目標）			
	①	施設利用延べ人数			人	23,000	14,631	23,000	23,000			
	②											
③												
説明												

事業名	保健福祉センター管理事業	シート作成課	地域福祉課
-----	--------------	--------	-------

一次評価者	地域福祉課長	二次評価者	福祉部長
-------	--------	-------	------

評価項目の説明	チェック項目		一次の評価又は説明	
	一次	二次		
<b>必要性</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。</li> <li>社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。</li> <li>利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。</li> <li>住民ニーズを上回るサービス提供となっている。</li> <li>国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。</li> <li>国や県のサービスと重複している。</li> <li>民間のサービスと競合している。</li> <li>厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。</li> </ol>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	健康福祉の増進及び文化的な生活向上を図るための必要な施設である。
<b>有効性</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。</li> <li>施策への貢献度が著しく高いとはいえない。</li> <li>施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。</li> <li>事業の継続をしても成果の向上が期待できない。</li> </ol>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	総合文化センター及びふれあいセンター施設は利用目的を区分し使用を許可している。
<b>達成度</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。</li> <li>事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。</li> <li>概ね目標を達成していると思う。</li> <li>十分に目標を達成していると思う。</li> </ol>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	施設の利用者も多く充実していますが、老朽化が目立っている。
<b>効率性</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。</li> <li>現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。</li> <li>他の実施主体のノウハウを活用できる。</li> <li>他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。</li> <li>事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。</li> <li>電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。</li> <li>契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。</li> </ol>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	施設の老朽化対策を行いつつ、発達支援室の整備、検診の効率化のため改修を行う。

**本事務事業の実施適切性の説明**

健康福祉増進の拠点施設として多くの方に利用されていることと、施設の老朽化が進んでいることを鑑み、長寿命化を行いつつ、発達支援事業など時代に即した機能向上を図れるよう改修も行う必要がある。

一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	3	4	B	A
	今後の方針	休・廃止		見直し	継続	D	C
	今後の改革・改善目標	発達支援を行うための部屋、検診事業を円滑に行えるよう施設の改修を行いつつ、老朽したトイレ、劣化した防水面など改修も行い長寿命化を図る。					

二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	3	4	B	A
	今後の方針	休・廃止		見直し	継続	D	C
	コメント	施設を有効に利用できるよう利便性を図りつつ、長寿命化計画に基づいた改修を行う。					

二次評価に対する課の考え方							
参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1	現在の手段を継続する		